

インドネシア債券が 主要格付会社3社で投資適格級に

5月19日、米格付会社S&Pは、インドネシアの自国通貨建ておよび外貨建て長期債の信用格付を1段階引き上げ、投資適格級であるBBB-としたほか、格付見通しを安定的としました。他の主要格付会社のうち、フィッチは11年に、ムーディーズは12年に既に格上げを行っており、これでインドネシア債券は主要3社の全てから投資適格級に位置付けられたことになります。

S&Pは格上げの主な理由として、インドネシアの財政リスクが低減したことを挙げています。同国では、17年の予算策定が現実的で信頼性が高いものとなっており、歳入の下振れによって財政赤字が大幅に拡大するリスクが低下しています。また、タックス・アムネ스티(租税特赦)法などの税収増加策に加え、補助金改革が今年から電力補助金にまで広げられ、財政支出の抑制が一層強化されたことなどが評価されました。さらに、同国の政治や政策の枠組みが安定的であることや、中央銀行が物価の安定や経済成長に尽力している点なども挙げられています。

インドネシアの良好な経済ファンダメンタルズや健全な財政状況は以前から広く投資家に認識されていたため、今回の格上げは金融市場で事前にある程度織り込みが進んでいたと考えられます。しかし、主要3社から揃って投資適格級に位置付けられたことで、海外からの投資が加速すると期待されるほか、日本をはじめとする保守的な機関投資家による新規の債券需要も徐々に拡大するとみられ、通貨ルピアには中長期的な上昇圧力がかかると見込まれます。

米国が利上げ局面にあるにもかかわらず、インドネシアの良好な経済や財政状況が評価され、昨年末から今年2月にかけて、フィッチ、ムーディーズは立て続けにインドネシア債券の格付見通しを安定的からポジティブに引き上げました。そうしたなか、今後、ジョコ大統領による経済改革に一層のはずみがつけば、さらなる格上げの可能性も期待できそうです。

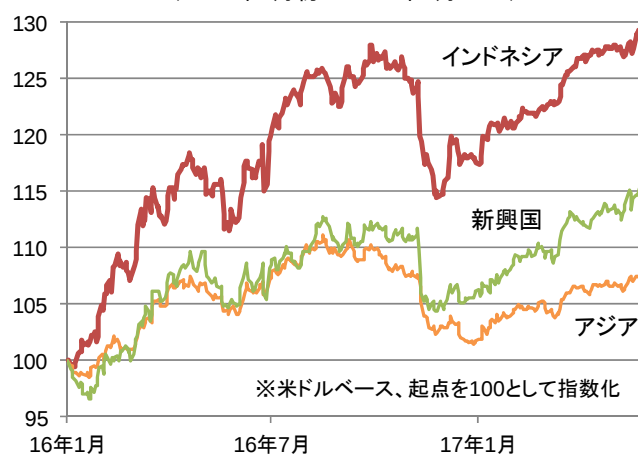
インドネシアルピア(対円)の推移

(2016年1月初～2017年5月24日)



現地通貨建て債券のパフォーマンス推移

(2016年1月初～2017年5月24日)



【債券指数】インドネシア: Markit iBoxx ALBI Indonesia (現地通貨ベースを日興アセットマネジメントが米ドル換算)、アジア: Markit iBoxx ALBI (米ドルベース)、新興国: Markit iBoxx Global Emerging Market Local Currency Bond Index (米ドルベース)、全てトータルリターン (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。